

次号予告 (第52巻・第11号)

Sounding Board

Nanotechnology and public healthMasami MATSUDA, et al

Review ArticleEvaluation of universal newborn hearing screening in Japan: An analysis of the literatureSuguru OKUBO, et al
The metabolic syndrome from the view point of public health: With special reference to nonalcoholic fatty liver diseaseTetsu WATANABE**Original Article**

Competences necessary for Japanese public health center directors in responding to public health emergenciesTomoko TACHIBANA, et al

A refined method for estimating medical expenditures for liver disease using the patient survey and claim data in JapanSatoshi TOYOKAWA, et al

Knowledge of smoking-related risks and opinions on tobacco control by smoking status and education level in JapanNobuo NISHI, et al

Three-year follow-up on the effects of a smoking prevention program for elementary school children with a quasi-experimental design in JapanNobuki NISHIOKA, et al

Change of components of the metabolic syndrome in a workers' health checkup after five years-relation with elevated liver enzymes, gene polymorphisms for ALDH2, β 3-AR and lifestyleNoriko ISHIKAWA, et al

Association of changing type of job and prevalence of components of metabolic syndrome-special reference to job stressHajime MIKURUBE, et al

An analysis of administrative sanctions and criminal prosecutions of doctors in JapanEtsuji OKAMOTO

Public Health Report

Factors associated with successful smoking cessation among participants in a smoking cessation program involving use of the internet, e-mails and mailing-listAtsuhiko OTA, et al

編集 後記

「学会発表から論文へ」が以前からの懸案です。論文の種類に公衆衛生活動報告を設け、査読では論文作成に不慣れた著者に配慮し、再三の編集後記で投稿を勧めてきました。最近の年間投稿数は130編余り、掲載数は80編余りです。札幌での学会発表数は遙かに多く、論文の投稿・掲載数増加の余地はかなり大きいと感じます。

学会時の拡大編集委員会は編集委員と査読委員が一緒に議論する機会です。最も多い意見は審査期間の短縮です。論文投稿の受付後、直ちに査読委員をメールで選定・依頼し、期限後に未提出の査読委員に督促します。最近では、論文の投稿から審査結果までの期間は3か月余りであり、さらなる短縮を目指すべきでしょう。

英文論文の刊行が最近のトピックです。本年の投稿数は昨年16編から大幅に増え、編集はほぼ順調に進み、来月に2冊目の英文号が発行されます。広く会員からの意見を聞いて、今後の進め方を議論するものと思います。

来年に約半数の編集委員と査読委員が交代して、新編集委員長の下に、新しい編集委員会が発足します。会員各位の協力によって難しい課題も解決に向かい、会員にとって、よりよい雑誌となることを願っています。

(橋本修二)

12号予告 (第52巻・第12号)

原 著

特定疾患治療研究事業医療受給者の経年変化—受給者調査リンケージデータを用いた解析—柴崎智美, 他

2-エチル-1-ヘキサノールによる室内空気汚染—室内濃度, 発生源, 自覚症状について—上島通浩, 他

健康日本21地方計画策定支援を目的とした地域診断ツールの開発西連地利己, 他

公衆衛生活動報告

BCG 接種区別の接種技術評価杉下由行, 他

資 料

介護予防事業への男性参加に関連する事業要因の予備的検討

—介護予防事業事例の検討から—大久保豪, 他

社団法人日本食品衛生学会 第6回特別シンポジウム開催のお知らせ

開催日時：平成18年2月3日（金）13：00-17：00

開催場所：東京大学農学部弥生講堂

テーマ：「農場から食卓まで一食の安全性確保」

- | | | |
|-------------------------------|--------------------|-------|
| 1) 「フードチェーン・アプローチを大切に」 | 内閣府食品安全委員会事務局 | 一色賢司 |
| 2) 「食品安全のためのGAP」 | 農林水産省消費・安全局農産安全管理課 | 谷口康子 |
| 3) 「食鳥肉のカンピロバクター及びサルモネラ汚染と対策」 | 北里大学獣医畜産学部 | 中村政幸 |
| 4) 「食物アレルギーと食品表示制度」 | 順天堂大学医学部公衆衛生学教室 | 丸井英二 |
| 5) 「食の安全性確保とISO 22000」 | 社団法人日本適合性認定協会（JAB） | 井須雄一郎 |

参加費：5,000円/1名（先着250名，定員になり次第締め切ります。）

参加方法：当学会のホームページ <http://www.shokuhineisei.jp/> をご覧ください。

主催：社団法人日本食品衛生学会 〒150-0001 東京都渋谷区神宮前2-6-1

食品衛生センター内 TEL. 03-3470-2933 FAX. 03-3470-2975

日本健康科学学会シンポジウムのご案内（第2報）

「健康維持のためのサプリメントの理解と適切な使用—科学的に検証された情報提供と選択—」

【日時】平成18年1月28日（土）10：00～17：00（受付開始9：00～）

【会場】東京医科大学病院 臨床講堂 6階 東京都新宿区西新宿6-7-1 03-3342-6111

【主催】日本健康科学学会（実行委員長：信川益明会長）

【申込方法】事前申込受付（1/18迄），以降は当日受付。詳細はシンポジウム事務局まで。

【参加料金】日本健康科学学会会員	事前登録	2,000円	（当日登録	3,000円）
協賛団体会員	事前登録	3,000円	（当日登録	4,000円）
一般	事前登録	4,000円	（当日登録	5,000円）
学生	事前登録	1,000円	（当日登録	2,000円）
懇親会参加費	事前登録	5,000円	（当日登録	6,000円）

※金額はすべて事前登録者代金，当日登録者はカッコ内金額で各1,000円増となります。

※事前登録代金の振り込みは，平成17年1月18日（水）付分で締め切らせていただき，それ以降の振り込みは無効となります。また，いったん振り込まれた参加資料代，懇親会参加費は返金いたしません。

【内容】シンポジウムⅠ「サプリメントに関する国際動向」 司会 信川益明
シンポジウムⅡ「サプリメントの科学的評価と活用」 司会 名和肇

【申込先・問合せ】日本健康科学学会シンポジウム事務局

〒164-0001 中野区中野 2-2-3 株式会社へする出版事業部内

TEL：03-3384-8037 FAX：03-3380-8627

E-mail：health-sci@herusu-shuppan.co.jp HP：http://www.hs.ipu.ac.jp/HS/index.html